

ちば中学生県議会の今後のあり方検討ワーキンググループ（第４回） 議事要旨

1 日 時 令和6年10月31日（木）午前10時30分～午前11時10分

2 場 所 議会棟5階 議会運営委員会室

3 出席者 構成員 小路正和議員、田中幸太郎議員、鈴木均議員、秋山陽議員、
仲村秀明議員、石川りょう議員、浅野ふみ子議員
関係課 議会事務局政務調査課 田岡千子副課長、茂木純子議会広報班長
教育庁学習指導課 菅根彰宏指導主事、齋藤大資指導主事
事務局 島田昌信議事課長、飯嶋茂人議事班長、檜垣沙希主事
欠席者 伊豆倉雄太議員、川村博章議員

4 議事概要

（１）議事要旨について

座長から第3回WGの議事要旨の確認を行い、了承を得た。

（２）構成員について

安藤議員の辞職により生じた欠員に伴い、立憲民主党の秋山議員が加入した。

（３）体験会（案）について

事務局から体験会案について説明。

- ・プラン案については以下のとおり。

＜プラン1＞

議場等の見学→本会議場において生徒の呼名、議長の指名→委員会室において委員会または分科会で県政等のテーマについて議論し、委員長報告または提言をまとめる→本会議場において、まとめた結果を報告する→記念撮影等を行う→委員会室において、意見交換会を行う

＜プラン2＞

議場等の見学→本会議場において生徒の呼名、議長の指名→委員会室において委員会または分科会で県政等のテーマについて議論し、委員長報告または提言をまとめる→本会議場において、まとめた結果を報告し、報告に対して質疑を行う→記念撮影等を行う→委員会室において、意見交換会を行う

＜プラン3＞

議場等の見学→本会議場において生徒の呼名、議長選挙を行う。生徒があらかじめ用意した項目を質問し、議員が答弁→記念撮影等を行う→委員会室において、意見交換会を行う

- ・プランの項目については以下のとおり。

＜生徒と議員とのふれあいの場＞

- ①委員会 県政等のテーマについて議論し、委員長報告をまとめる
- ②分科会 県政等のテーマについて議論し、提言をまとめる

③意見交換会 体験会終了後に感想を踏まえて意見交換をする

＜本会議の体験＞

①委員長報告 委員会または分科会での結果を報告する

②委員長報告等に対する質疑 委員長報告に対して、質問を行う

③一般質疑 生徒が質問し、議員が答弁する

④議長選挙 議長選挙を行う

＜議場等見学＞

グループに分かれ、議場や委員会室等を議員が案内する

＜記念品贈呈等＞

記念品を贈呈し、議員と生徒全員で記念撮影を行う

（４）代替案の検討について

- ・時間的な制約があるかもしれないが、プラン3がよいと思う。可能であれば、委員会または分科会、本会議での報告も含めて実施できればよいと思う。
- ・プラン3では本会議の質疑ができ、プラン1、2では委員会でテーマについて議論し、報告や提言をまとめることができる。多くの生徒や議員が関わるためには、委員会や分科会で1つのテーマについて話した方が、参加意識は高まると思うため、プラン1か2がよいのではないかと。議長選挙については、所信表明を行って選ぶのも面白いと思う。時間の制約がなければプラン2と3を組み合わせるのがよいが、制約がある場合はプラン1か2だと思う。
- ・プラン案では、1か2がよいのではないかと。中学生県議会では、代表者のみの発言となることが課題だったため、本会議場でなくても自分の意見を発表できる場が盛り込まれているプランがよいと思う。議長選挙は初めて会った方を選ぶことは難しいが、逆に元々決まった人を選ぶとセレモニー感がでてしまう。プラン2の報告に対する質疑は、各委員会でもまとめたことについての質疑になり、どのような質問がでてくるかわからないため、時間的に幅を持たせる必要があると思う。
- ・まずはプラン1から始めて、どこまで膨らませられるかを考えることがよいと思う。
- ・議長選挙は体験的には価値があると思うが、誰を選ぶかが大変だと思う。
- ・投票用紙に記入し呼名されて、投票することは体験としてよいと思う。
- ・議長選挙は中々難しいと思う。何を目的に議長選挙の体験をしてもらうかが肝心だと思う。
- ・プラン2を軸に1つの案として、投票を体験するという事で議長選挙を入れてみる。
- ・報告に対して質疑を行う場合は、委員会や分科会のテーマが同じだと発言しやすいが、全く異なるテーマを議論していた人が、報告を受けて即座に頭を切り替えて質問できるか気になる。
- ・関わる議員は、初回はワーキングメンバーかもしれないが、将来的には全議員が関わられるようにしたい。
- ・将来的には広報委員のようなものを検討してはどうか。 c h

(4) 質疑応答

- ・プラン3で議長選挙があるからだと思うが、委員会、分科会におけるの議論と、本会議での報告が省略されているのは時間の都合か。
→時間の都合もあるが、本会議場で議会を体験してもらうことに重きをおいたプランである。委員会、分科会におけるの議論と、本会議での報告も併せて実施することも可能である。
- ・委員会と分科会の違いは。
→いずれも、常任委員会のイメージだが、混同しないよう便宜上、名称を変えている。委員会は、1つのテーマについて議論してもらい、委員長報告としてまとめる。分科会は、県政等のテーマについて議論してもらい、提言としてまとめる。
- ・委員長報告に対する質疑は、フリーなのか。答弁するのは誰か。
→他のグループの報告を聞き、疑問に思ったことを自由に質問してもらう。答弁は委員長役の生徒では、厳しいと思うため、議員が答えてもいいのではないかとと思う。

(5) その他

- ・次回は12月議会中に実施予定。